

平成 30 年 7 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社ネクスグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 秋山 司
(JASDAQ・コード 6634)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 石原 直樹
電 話 03-6759-8970

新規事業（マイニング事業）開始に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、かねてより注力しております仮想通貨関連事業の新たな取り組みとして、当社の本社である岩手県花巻市においてマイニング事業を開始することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨及び内容

当社は、親会社である株式会社フィスコ、持分法適用関連会社である株式会社カイカとともに両社が成長戦略に掲げる仮想通貨関連ビジネスに注力しております。

平成 30 年 1 月には株式会社フィスコ仮想通貨取引所と業務提携を行い、当社子会社で AI 思考ルーチンを搭載したソフト「AI 将棋、AI 囲碁、AI 麻雀」などの開発・販売実績がある株式会社イーフロンティアによる仮想通貨向け AI トレーディングシステムの開発に着手し、実証試験運用においてはすでに大きな成果が出ております。

この度、新たな取り組みとして、当社の本社（岩手県花巻市）においてマイニング事業を開始いたします。

仮想通貨のマイニング(採掘)とは、ネットワーク上に存在する取引データの固まり(ブロック)の整合性を確保するための承認作業のことで、最も早く承認できたものに対して、報酬として対象とする仮想通貨が支払われます。この承認作業をおこなうには、大量の計算が必要なため、高性能なコンピューターが必要となります。

当社は、マイニングには ASIC (特定用途向け集積回路) を利用し、Equihash algorithm に対応したコイン (BitcoinGold、Zcash、ZenCash、Hush など) のマイニングを、マイニングプールを利用しておこないます。花巻市でマイニング事業を行う意味合いとしましては大きく以下の 2 点となります。

通常マイニング事業を行うために、マイニング機器の発熱を抑えるための、相当数の冷却ファンや空調設備、またそれらを設置するスペースや稼働させるための膨大な電力が必要とされており、これらの問題をいかに効率よく低コストで抑えるかが事業のポイントとされています。

岩手県花巻市は寒冷地となり、冬場は氷点下まで気温が下がり、夏場の平均気温も 23.8 度 (出典 : 気象庁) と低く、1 年を通じてその大部分を自然換気による冷却に頼ることで電気代の大幅な低減が見込めます。また、岩手県における再生可能エネルギーのポテンシャルは全国で 2 位となっており、特に風力発電、地熱発電では非常に高いポテンシャルを持っております。将来的には、この様な豊富な再生エネルギーを利用した安価な電力調達も視野に入れていく予定です。

もう一点は、マイニング機器により排出される熱を、当社の農業事業 ICT「NCXX FARM」へ活用していきます。NCXX FARMでは1年を通してビニールハウスによるミニトマトの栽培を行っており、冬場は外気が氷点下となるため、24時間ヒーターを稼働しビニールハウス内を野菜の育成に最適な温度に保っております。マイニング機器も24時間稼働しておりかなりの高熱を発生するため、この熱を利用することで冬場の暖房費の削減をおこないます。

将来的には、排熱の利用だけではなく、マイニングしたコインにより農業事業に必要な苗や肥料、薬剤などの仕入れをおこなうなど、自立回転型の農業システムの構築を目指します。

この様に、他の事業も含めたトータルでの効率化を計ることで、電気代の安価な諸外国で行うマイニング事業とは一線を画した、ネクスグループ独自のマイニング事業を展開してまいります。

事業開始にあたり、当面は小規模での試験運用をおこない、データ収集とノウハウの蓄積をおこない段階的に規模の拡大を目指してまいります。

2. 新規事業の日程

マイニング事業開始の取締役会決議（平成30年7月18日）
 花巻本社におけるマイニング事業の開始（平成30年11月上旬予定）

3. 新規事業のために特別に支出する予定額の合計額

当初は、花巻本社屋内にてマイニング機器を設置し運用を開始する予定です。マイニング機器の購入、その他設備投資に約1,000万円の支出を予定しております。

4. 今後の見通し

当期(平成30年11月期)は、本格的な事業展開のための準備期間と位置づけており、その後も段階的に規模の拡大を目指していく予定であるため、当期を含め、中期的な業績への影響は軽微であると考えております。

以上

【参考】花巻でのマイニング事業イメージ

